



写真上／肥後直熊筆西郷隆盛像部分（鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵）下／西南役関係錦絵（鹿児島戦記 田原坂の戦）（鹿児島県立図書館蔵）

文化薫るまち、いずみおおつ。「泉大津市文化フォーラム」

## 命も、名も、金もいらぬ！ 今求められるサムライ精神

7月は、映画『ラストサムライ』のモデルといわれる明治維新のリーダー、西郷隆盛を取り上げます。政治に携わる者に地位や名声、蓄財とは無縁な「無私の精神」を求め、新国家の進路に中央集権国家より地域の自立を掲げました。入場無料。南海電鉄後援。問合 秘書広報課（市役所4階）

●7月7日（日）「西郷隆盛に学ぶ」縄文人のころ」上田篤氏（建築学者、西郷義塾主宰、元大阪大学教授）  
▽午後2時～3時30分（1時間開場）▽テクスピア大阪テクスピアホール  
1930年大阪府生まれ。京都大学工学部卒。同大学院修士課程修了。専門は建築学、都市計画。工学博士（京都大学）。建設省住宅局技官、京都大学助教授、大阪大学教授などを歴任。NPO法人社叢学会をつくり、鎮守の森の保存運動に努めています。



1930年大阪府生まれ。京都大学工学部卒。同大学院修士課程修了。専門は建築学、都市計画。工学博士（京都大学）。建設省住宅局技官、京都大学助教授、大阪大学教授などを歴任。NPO法人社叢学会をつくり、鎮守の森の保存運動に努めています。

京町家を研究する一方、「歩行者天国」の先駆けとなった北海道旭川市平和通り買物公園をデザインし、「車に占領されていた道路を人間に返す試み」と大きな話題となりました。

大阪万博では、太陽の塔がある「お祭り広場」を建築家の丹下健三氏と共同設計し、日本建築学会特別賞を受賞しました。その後も、五重塔の構造をわかりやすく説いた著書『五重塔はなぜ倒れないか』を出版し、「地震国日本」の宮大工の知恵を高く評価しました。

近年は、縄文文化と西郷隆盛を中心に評論活動に力を入れ、今度の講演会では西郷の考え方、生き方を通じて、日本のあるべき姿を考えます。

「明治維新がサムライ精神を失ってしまったから、多くの日本人が信念と責任感を失い、お金もつけに心が集まるようになった。西郷は、明治政府の中央集権と富国強兵の軍事大國路線ではなく、地域の自立を優先する考えをもっていた。東京を離れ、鹿児島で試みようとしたのも地方分権の実験だった」と熱く語っています。

## かんとうい 賞頭衣デザインコンテスト 作品を募集します！

弥生時代の史跡である池上曾根遺跡で11月に開催予定の農業まつり（JAいずみの主催）の中で、米づくりを始めた弥生時代の人々が着ていたとされる「賞頭衣（かんとうい＝頭を通す穴の開いたポンチョのような衣服）」のデザインコンテストを実施します。入賞作品は、ファッションショーの形で発表し、賞品も用意していますので、ぜひ応募ください。

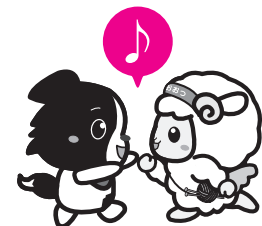
**募集期間** 7月1日（月）～8月30日（金）（ただし学生の締め切りは9月の始業日）  
**募集作品条件** 自由な発想でデザイン・作製された賞頭衣。素材は一般的に衣類に用いる生地。農業まつり当日にスタッフが終日着用することを想定のこと  
**募集対象** ①小学生（原則として6年生） ②中学生・高校生 ③デザインなど専攻学生 ④一般  
**募集テーマ** テーマは自由。ただし必ず応募用紙にテーマを記入  
**応募方法など** 環境課備え付けの「賞頭衣デザインコンテスト応募要領」を参照  
**提出・問合** 環境課（市役所2階21番窓口）



昨年の「賞頭衣デザインコンテスト」の様子

## 泉大津市の国際交流

本市は平成4年、市制施行50周年を機にオーストラリアのグレート・オーシャン・ロードと友好都市提携を結び、それ以降交流を続けています。ここでは、本市の国際交流に関する情報をお知らせします。



豪州に向けて出発する川端さん（左）、河井さん（関空にて）

### グレート・オーシャン・ロードマラソンに 市民ランナーを派遣しました

オーストラリア・グレート・オーシャン・ロードマラソン（毎年5月開催）に、川端一生さん（池浦町）、河井正夫さん（助松団地）の2人の市民ランナーを派遣しました。

このマラソンのコースとなるグレート・オーシャン・ロードは、ビクトリア州沿岸の全長220kmに及ぶ世界有数の美しいコースです。参加した2人のランナーは、壮大なコースを走り、現地でのホームステイを通じ、地元市民との交流や文化・歴史を体験して両市の友好を深めました。また、7月5日（金）には両ランナーが伊藤市長へ結果報告に訪れます。

### 泉大津国際交流協会 会員を募集しています！

泉大津国際交流協会は、市民単位の国際交流の実現を目指しており、平成24年度はグレート・オーシャン・ロードマラソン市の中学生との交流、本市出身のJICA（独立行政法人国際協力機構）隊員による活動報告会「幸せの国ブータンからのメッセージ」などを行いました。

同協会は会員の皆さんの会費をもって各種事業を行うこととなっており、目標としている市民単位での国際交流を推進していくためには、皆様のご理解とご協力が必要です。会員になって、本市における国際交流の推進、国際社会に対応する人づくり・まちづくりに参加しませんか。

### 泉大津国際交流協会について

**年会費** ▷個人…10,000円 ▷団体・法人…10万円  
**入会申込先・問合** 企画調整課（市役所4階）



JICA隊員・釜野さんによる活動報告

## 連載 市民活動の輪

### Vol.5 「ねころじの会」

地域の猫たちと共存・共栄できる  
心豊かなまちづくり・暮らしを目指しています

私たちは、小さな命を大切に、そして地域の猫たちと共存・共生できる心豊かなまちづくり・暮らしを目指しています。

「ねころじの会」は発足してまだ1年足らずであり、当初は地域の猫好きたちの集いから始まりました。その中で「のら猫問題」が浮かび上がりました。糞尿や泣き声による苦情、エサやりさんとのトラブル、またのら猫に対する虐待など…。

私たち「ねころじの会」はTNR（捕獲→不妊去勢手術→元の居場所へ戻す）活動を目的にしております。もともとは、飼い主が捨てたか逃げ出したのが始まりののら猫。その彼らが年間20万匹も殺処分されているそうです。自分たちに責任がないのに、そういう目

にあう猫たちを小さな命として見過ごせないのです。以前、寺の境内に2匹の子猫が捨てられていました。法律では犬猫の遺棄・虐待は犯罪です。その認識のない方々が多いのが悲しい現実です。

こういった活動を「地域猫活動」といいますが、この活動は今や全国的に広がっています。我が泉州の地でもこのシステムを取り入れ、小さな命にも優しい眼差しを向ける真の文化の香りあふれる町づくりを目指しています。 ※関心のある方は、毎月第1土曜日・午後7時より「南溟寺同朋精舎もやい」にて「ねころじの会」を開いていますので、ご参加お待ちしております。

**活動場所** 泉大津市神明町6-15 南溟寺内「同朋精舎もやい」  
**問合** 事務局 ☎32・3970 戸次（べっき）



5月、南溟寺本堂前で開催された「第2回ニャンバザー」の様子。収益金はすべて「のら猫達」の不妊去勢手術費用などに充てられます。ご協力ありがとうございました。

泉大津でがんばる市民団体を紹介します。



一人 年、山中伸弥京都大  
学教授が、iPS細胞  
の開発により、ノーベル  
医学・生理学賞を受賞しまし  
た。医療の姿を根本的に変え  
る可能性を秘めたiPS細胞  
の開発へのノーベル賞受賞は、  
本当に明るい話題でした。そ  
の後も次々とiPS細胞を使  
った新薬の開発や再生医療  
への取り組みが報じられ、私  
は患者さんのもとへ届くのも  
非常に近い将来ではないかと  
思っています。この技術が確  
立すると、今まで難しいと思  
われていたケガや病気の治療  
が、体への負担や後遺症も少  
なく行える道が大きく広がる  
のではないかと思います。少  
しも早く病の痛みや苦し  
みから解放されることは、患者  
さんだけでなく、家族の願

考えよう・人権

## 心身共に健康な 社会をめざして

でもあり、誰もが望むこと  
です。

人間が人間らしく生きるために、すべての人が等しく持っている  
権利、「人権」について考えるコラムです。

しかし、心配なこともあり  
ます。まず一つは、「安全性の  
確保」です。過去、人間は、  
高度な技術をすべて安全に  
使ってこれたわけではありま  
せん。例えば、東日本大震災は、  
私たちに原子力の安全確保の  
難しさを改めて知らしめまし  
た。高度な技術やその開発に  
は多くのリスクが伴って当然  
です。その解決には多くの資  
金や人材が必要であり、山中  
教授も長期にわたるサポート  
を求めています。山中教授が  
ノーベル賞受賞講演で述べて  
いた「iPS細胞技術、患者  
のもとに」という志が、後に  
続く人にも継承され、人の役  
に立つ技術であり続けること  
を望んでいます。

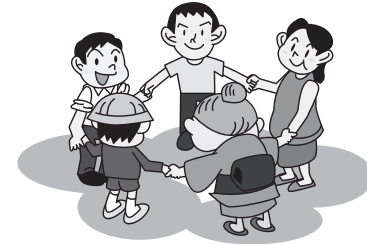
もう一つは、「心の再生」で

す。たとえ健康な体や社会復  
帰できるまでの体を取り戻し  
ても、心も健康でなければ本  
当に幸福であるとは言えま  
せん。  
ところが、今の社会は、い  
じめ・自殺・虐待など誰もが  
心痛むニュースが報道されな  
い日がありません。また、い  
くつかの病気に対する根強い  
誤解や無理解による差別や偏  
見が、病からの回復者や病と  
共に生きている人の社会への  
復帰や交流を妨げている事実  
があることを私たちは知って  
おかねばなりません。い  
くら医療が進んでも、誰もが  
生きる希望を感じられる社会  
でないという意味がありません。  
世界に先駆けて研究開発さ  
れているiPS細胞を使った  
技術の発展が、十分いかされ  
る社会でありたいものです。

## 自治会連合会役員 自治会長 が決まりました！

平成 25 年度の各自治会の会長が決まりました。また、各  
自治会間の連携強化を図るために組織されている自治会連  
合会の役員も決定しました  
ので、お知らせします。

問合 人権市民協働課（市  
役所 1 階 2 番窓口）



### ■ 自治会連合会役員

役 職	校 区	自治会名	氏 名
会 長	条南	池園町	吉 村 譲
副 会 長	上條	浜助松	市 川 元 也
	戎西	河原町	森 田 聖 人
	条東	森町	川 上 良 雄
総 務 書 記 会 計	戎東	高津町	川 崎 純 二
	穴師	池浦町	高 寺 壽
会 計 監 査	旭	下条町中	橋 本 正 三
	浜	小松町	橋 田 勝 久
理 事	楠	楠町西	小 堀 正 利
	戎西	下之町	吉 田 稔
	戎東	戎町	樽 井 義 幸
	旭	東雲町	大 谷 一 敏
	浜	松之浜町	楠 西 英 治
	穴師	豊中町	豊 西 晋
	楠	板原町	浜 口 正 治
	上條	助松町	久 保 清 次
	条東	南曾根	藤 原 隆 夫
	条南	北豊中 2 丁目	星 野 一 雄

### ■ 各自治会の会長

校 区	自治会名	氏 名
戎 西	河原町	森 田 聖 人
	清水町	正 木 哲
	西港町	納 谷 勝 哉
	下之町	吉 田 稔
戎 東	高津町	川 崎 純 二
	上之町	畑 村 勝 弥
	戎町	樽 井 義 幸
	本町	森 本 禮 三
	神明町	上 田 吉 孝
	東港町	河 越 弥 三 郎
	若宮町	杉 本 憲 彦
	田中町	長 谷 川 信 弘
旭	式内町	甲 斐 保 嘉
	府営式内住宅	田 中 栄 城
	旭町	平 松 泰 男
	昭和町	中 川 隆 夫
	東雲町	大 谷 一 敏
	下条町	大 久 保 學
	宇多	高 橋 登
	虫取	辻 川 孝 之
	下条町中	橋 本 正 三
	さつき団地	（ 非 公 開 ）
	ディオフェルティ泉大津	船 富 道 子
	アルザ	高 橋 四 郎
浜	リーベスト泉大津	和 山 勇
	テスハイムガーデンズ泉大津	池 原 裕 志
	菅原町	佐 嶋 利 春

校 区	自治会名	氏 名
浜	春日町	三 浦 祥 男
	小松町	横 田 勝 久
	松之浜町	楠 本 英 治
	なぎさ町一番館	井 福 浩
穴 師	なぎさ住宅	蛸 原 淨
	なぎさ町 2 番	鎌 口 邦 夫
	池浦町	高 寺 壽
	府営要池住宅	永 尾 正 保
	我孫子	小 滝 明
	豊中町	豊 西 晋
	東豊中	中 村 弘 巳
	東豊中町上	河 井 聰
楠	穴田	辻 川 正 實
	板原町	浜 口 正 治
	新宇多	中 井 勝
	虫取市営住宅	仲 尾 幸 一
上 條	宇多之庄	久 野 和 之
	楠町西	小 堀 正 利
上 條	板原リバーサイド	井 上 準 一
	助松町	久 保 清 次
	浜助松	市 川 元 也
	助松ハイツ	丸 山 美 樹 子
	上条	村 上 敏 郎
	府営東助松住宅	大 橋 建 男
	助森	山 本 信 夫
	東助松町 3 丁目	寺 前 茂 企
	東助松町 4 丁目	堀 口 浩

校 区	自治会名	氏 名
上 條	東助松四一四	松 下 智 明
	CF ロイヤルガーデン	蔵 本 益 雄
	助松団地	片 芝 清
	千原町	小 林 一 郎
条 東	森町	川 上 良 雄
	南曾根	藤 原 隆 夫
	北曾根	中 桐 清 治
	睦	長 田 米 男
	尾井千原町	守 谷 雅 晴
	末広町	森 孝 志
	森第一住宅	西 田 秀 敏
	新森	山 本 隆
	森北商店会	藤 江 英 伸
	北助松第一次団地	平 松 雅 伸
条 南	北助松第二次住宅	水 田 和 男
	北助松第四次団地	高 細 忠
	寿町	浅 野 重 秋
	宮町	宮 崎 次 郎
	泉大津警住	八 尋 健 二 郎
	二田町	米 田 英 信
	池園町	吉 村 譲
	条南町	坪 野 敏 治
	北豊中町 1 丁目	橋 本 達 也
	北豊中 2 丁目	星 野 一 雄
	北豊中町 3 丁目	前 田 禮 子
	グランコート泉大津Ⅱ	亀 井 澄 江

コラム 知ってトクする 元気になれる

## 健康アップ大作戦

### 今年は、「夏バテしない夏」に！

梅雨が明けるといよいよ夏も本番ですね。今年も暑い夏になりそうですが、皆さん、体の準備は整っていますか？今回は夏の暑さに負けないための、夏バテ防止のコツをご紹介します。

#### ■ コツその①「入浴」

夏場はシャワーですませる人が多くなりますが、湯船につかると体全体に水圧がかかるため、胃腸も含めた内臓の血流を活発にする効果があります。また、毎日の入浴により汗をかきやすい体質に戻すことで体温調節機能が上がり、熱中症予防にも効果的です。37 ～ 38℃ぐらいの湯船に 10 分程度の入浴がおすすめです。湯上りにはお水かお茶でしっかりと水分補給も。

#### ■ コツその②「睡眠」

生地の上に凹凸感があるしじら織りやちりめんの布

団力バーにすると肌触りも良く、通気性も高いので熱や湿気がこもりにくくなります。室内環境としては、室温 28 度・湿度 50 ～ 60% くらいといった条件が最もスムーズな入眠につながります。

#### ■ コツその③「食事」

夏場は暑さから冷たいものを口にする機会が増えますが、胃腸が冷えると消化吸収力も落ちてしまい、食欲や体力低下につながります。トマトやキュウリなどの夏野菜は、体の余分な水分を出す働きにより体温を下げてくれ、また豚肉やウナギ、山イモなどは、体がエネルギーを作る際に不可欠なビタミン B 群が豊富です。夏場の食生活の乱れは夏バテを招く大きな原因の一つです。いつも以上にバランス良い食事を心がけてください。

日頃から自分の体調としっかり向き合うことが大切です。そのためにも、年に 1 回特定健診を受けましょう！

## ふるさと納税制度

を活用し、わたしたちのまち、  
泉大津市を応援してください！



ふるさと納税制度について  
詳しくは、泉大津市 HP を  
ご覧ください！

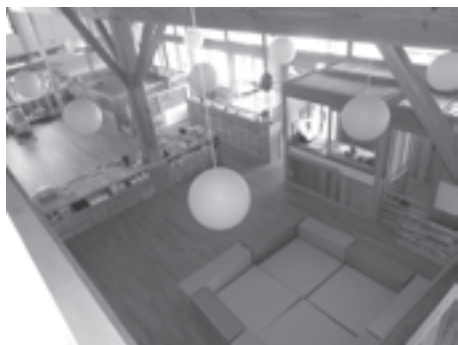


おづみんグッズやプ  
ランケットなど、泉  
大津を実感してもら  
える品物をたくさん  
ご用意しています。

寄附をいただいた人に、  
お礼として「ふるさと産品」を  
プレゼントしているんです。







## 今後は認定こども園に移行します

くすのき保育所が開所しました。場所は、楠幼稚園敷地内になります。今年度は、0～2歳児の低年齢児対象の保育所ですが、子育て支援の場としても、「赤ちゃんの駅」「マイ保育所制度」など、ひろく利用していただくことが可能です。

また、平成26年度に認定こども園に移行しますので、平成26年度から3～5歳児も入園することができます。



## 花で「人」の字が描かれています

総合体育館前に、人権啓発推進協議会の役員の皆さんが、年2回植替えを行っている壁面花壇があります。花壇には「人権を尊ぶまちづくり条例」の基本理念である、お互いを大切にすることを育み、すべての人が生きがい、思いやりをもって暮らせる真に心豊かな社会の実現を目指すため、人権の大切さを訴え、花で「人」の字が描かれています。



## 色鮮やかに描かれています

「絵のあるまちづくり」開催  
「絵のあるまちづくり」は、景観市民会議「景観人の集い」とあすとホールが主催となり、地域の皆さんと一緒に公共施設の壁面などを活用し、絵を描くことで、地域の子どもたちに景観を「守る心」、「育てる心」を養ってもらい、景観保全、落書き防止などを目的としています。今回で4回目を迎えるこの取り組みは、春日墓地の壁面をキャンバスに、5月6日から10日と12日の計6日間にわたり、延べ約210人の地域の親子などが参加しました。春日墓地の壁画は2年にわたる大作で、去年に引き続き「大津川から見た泉大津の四季」をテーマに、秋と冬の風物詩を描きました。壁面下部は、親子で描いた昆虫・花・動物などが季節感いっぱい色鮮やかに描かれています。泉大津の新名所となるこの壁画をお近くにお寄りの際は、ぜひご覧ください。なお、この壁画に使用したペイントは、日本ペイント販売(株)西日本支社近畿支店大阪南営業所から寄贈いただきました。



## 市役所のことを勉強しました

小学生が市役所見学に訪れました  
5月24日、28日、市役所に旭小学校と条南小学校の3年生計7クラスが市役所見学に訪れました。市役所見学の一環として、環境課では「地球温暖化」「ごみの分別」「ペットボトルのリサイクル」について、ミニ講座を実施しました。

# まちの話題

Izumitsu Town Topics



泉大津で起こったさまざまなできごとやイベントを、写真とともにお届けします。

say cheese!!



## 浜街道が大賑わい！！

「浜街道まつり」開催  
5月26日に、東港町・神明町・本町などを南北に走る通称「浜街道」周辺で「浜街道まつり」が開催されました。当日は、昔ながらの毛布工場の倉庫を使ったメイン会場「のこぎりホール」でのミニコンサートや、各寺院では狂言や落語が開催され、各町屋などでアートクラフトや絵画を展示する街角ギャラリーなどさまざまな模擬店が出店、また「こども昔遊び」などの催し物が開催され多くの人で賑わいました。



ごみゼロ大作戦

## 自分たちのまちを一齐清掃

「ごみゼロ大作戦」などを実施  
市では、5月30日の「ごみゼロ」の日になみ、6月2日に市内一齐清掃「泉大津市ごみゼロ大作戦」を実施しました。また、臨海地区では、「港湾美化啓発運動」も同時に開催しました。当日は、自治会など約60団体、約5,000人が参加、臨海地区では約500人が参加し、日頃みんなが使用する道路や公園・緑道などを一齐に掃除しました。